

**村中洋一さんが現代的アレンジ炭坑節の制作
二十年かけ完成した新しい炭坑節が誕生**

村中洋一さん(神崎)が田川市石炭・歴史博物館での勤務経験を生かし、現代的な踊りの所作を取り入れたアレンジ炭坑節を制作しました。炭坑節のスコップで掘る所作に違和感を感じ、ピックやドリルを使う所作に変えるなど試行錯誤を重ね完成。「健康体操にもなるし、踊りが好きな人に広めていきたい」と抱負を語りました。



↑毎月第1・3土曜日の19時半から神崎三公民館で踊りを教える村中さん(左)。

↓参加者全員でアイデアを出し合い作り方を考案し、一番快適なベッドの形を模索。



**町社協主催の「福祉体験サマースクール」
協力し助け合う防災学びたくましく成長**

福祉に特化した体験ができる町社協主催の「福祉体験サマースクール」が8月2日から5日間かけて行われました。初めての取組に小学3年生から6年生の9人が参加し、暖段はこベッド作りや泥水をろ過し飲む水にする方法など「防災」をテーマに学習。こどもたちはこの体験からいざという時のための防災力を育みました。

**福岡マスタース陸上競技選手権大会
雨ニも負けず陸上で3つの「金」を獲得**

ふくちのち館長の井上憲治さんが、8月9日に開催された「福岡マスタース陸上競技選手権大会」男子シニアの部の60m、100m、200mで見事3冠を達成しました。



向かい風の大雨でも、200mの部で29.05秒の好タイムを記録した井上さん。「今まで現役を続けてきた自分に誇りを持ち、九州大会に向けて練習に励みたい」と気持ちを高めました。

←「かけっこ」の魅力を子どもたちへ伝えられるような走りか井上さんのオリンピックイヤーのモットー。

↓カヌーとローボートではオールを漕ぐ向きが反対で、まっすぐ進むことに大苦戦。



**B&Gカヌー教室
水上散歩を楽しむ夏のカヌー体験**

町内の小中学生を対象とした「B & G カヌー教室」が8月5日に古谷池(神崎)で2年ぶりに開催されました。今年で4回目の教室に16人が参加し、カヌーやローボートの運転を体験。ローボートでは、経験のある子が初めての子に丁寧に教える場面もあり、青空の下、水面に負けない子どもたちの笑顔が終始光り輝いていました。

↓協定書に署名した一般社団法人Ichijo 谷誠代表(中央)と森田亜貴斗監督(左)、熊本比奈選手(右)。



**連携強化図りさらなる高みへ
カノア福岡とフレンドリータウン協定締結**

福智町と6人制女子バレーボールチームKANOA 福岡が地域活性化やスポーツ振興などを推進していくため、「フレンドリータウン協定」を締結。調印式が8月19日に行われました。黒土町長は「子どもたちや町民に勇気と感動を与えてほしい」とあいさつ。今後は、合宿場所等の提供や選手による部活動での指導、町民を試合に招待するなど連携を深めていきます。

**高霧亨一さん(庚申寅)が九州会会長賞を受賞
卓越した技術と感性が審査員の心掴む**

第33回現代工芸美術九州会展で高霧亨一さん(庚申寅)が現代工芸美術家協会九州会会長賞を受賞し、入賞作品の「籠」が7月20日から6日間、久留米市美術館で展示されました。器を焼くとイメージが変わり、霧がかかったような夜明けの仕上がりになり、「籠」と名付けた高霧さん。2度目の受賞に目を細めました。



↑最初は風の流れをモチーフに作ろうとし変化した、幅42cm・高さ40cmの「籠」。

↓今回表敬訪問した、左から松尾重義会長、吉田幸一さん、高橋峯男副会長。



**ねんりんピック岐阜2021
グラウンド・ゴルフ最高峰への挑戦に激励**

「ねんりんピック岐阜2021」のグラウンド・ゴルフ交流大会への出場報告のため、吉田幸一さん(宝見)が8月5日に黒土町長を表敬訪問しました。町長は、「コロナと健康に注意しながら、万全な状態で大会に挑んで欲しい」と激励。これを受けて吉田さんは、「町の名に恥じない結果を出したい」と力を込めました。